

授業科目名・形態	社会福祉概論Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操・林 宏二	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

社会福祉概論Ⅰの学びを前提にして、実際の社会福祉制度・行政の基なる社会福祉政策について理解する。社会福祉の歴史的な理念や価値観とは別に、今日の福祉制度は福祉政策の枠組みの中でシステムとして存在している。本科目では福祉政策の構成要素について学び、併せて関連領域である教育・住宅・労働政策等との関係について理解する。これらを踏まえて相談援助活動と福祉政策の関係について理解する。

【到達目標】

- 1 福祉改革を始めとする政府主導の福祉政策とその課題を理解する。
- 2 福祉政策の構成要素である政府、市場、家族、個人の役割を理解する。
- 3 福祉政策と関連政策である教育政策、住宅政策、労働政策などとの関係について理解する。
- 4 相談援助関係と福祉政策との関係について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 福祉政策におけるニーズと資源①（福祉ニーズの概念と福祉政策）（中里）
- 第2回 福祉政策におけるニーズと資源②（ニーズの判定と福祉政策の資源）（中里）
- 第3回 福祉政策の構成要素①（福祉政策の理念）（中里）
- 第4回 福祉政策の構成要素②（福祉政策資源の配分システム）（中里）
- 第5回 福祉政策の構成要素③（福祉政策の手法と決定過程・政策評価）（中里）
- 第6回 福祉制度の課題①（社会福祉制度の構造と制度体系）（中里）
- 第7回 福祉制度の課題②（社会福祉制度と福祉サービス）（中里）
- 第8回 福祉制度の課題③（福祉サービスの提供と運営管理）（中里）
- 第9回 福祉政策と関連領域①（人権擁護・教育・保健医療と福祉政策）（林）
- 第10回 福祉政策と関連領域②（所得保障・雇用と福祉政策）（林）
- 第11回 福祉政策と関連領域③（住宅・震災と福祉政策）（林）
- 第12回 相談援助と福祉政策①（相談援助の原則・視点・考え方と方法）（林）
- 第13回 相談援助と福祉政策②（社会福祉士の専門性と地域福祉）（林）
- 第14回 福祉政策の国際比較（諸外国の高齢者福祉・介護を中心に）（林）
- 第15回 福祉政策の課題と展望（林）

【授業実施方法】

講義形式で行う

【授業準備】

前回講義の内容を復習する。講義予定内容を読み専門用語及び概念などについて調べ、疑問点を整理しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、目を通し自分なりの理解と説明ができる状態で主体的に準備をする。

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ， 社会保障論， 公的扶助論

【教科書等】

新・社会福祉士養成講座 『現代社会と福祉』 第4版 中央法規出版

【参考文献】

適宜紹介する

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%， 提出レポート 30%， 期末試験の成績 60%の総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、5年間矯正施設で社会福祉士として勤務していた。矯正施設勤務で培われた社会保障・社会福祉制度の活用の仕方、社会ニーズの把握の方法、相談援助の方法を伝えたいと思う。

【学生へのメッセージ】

社会福祉概論Ⅰの学びを基礎に、制度・政策の実際を福祉システムとして具体的に理解することが必要です。社会福祉概論Ⅱはより具体的・積極的に福祉問題に関心を寄せ、地域包括支援システムを理解するために医療、介護、教育などの関連領域と児童、高齢者、障害者などの分野横断的な総合福祉システムとして理解することが求められています。しっかりと予習・復習をして下さい。